



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

WEEKLY REPORT

設立 昭和63年(1988)5月23日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111
会長 岡本 茂 幹事 藤井 宏明 会報広報委員長 吉本 カ

四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1404回 例会 2020年(令和2年)8月24日

(会員増強・新クラブ結成推進月間)

| | |
|---|------------------------|
| 本日のプログラム ○ ロ-タリ-ソング「奉仕の理想」 ○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告 ○ フリートーク | (本日のプログレス 俣野 富美雄 副SAA) |
|---|------------------------|

前回(8月3日)例会記録

◇プログレス 俣野 富美雄 副SAA

```

入~~~~~
...・森の夜明け...
...・夜明けのうた...
...・ゆかいな牧場...
~~~~~

```

1. 来客紹介

ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:0名 合計:0名

2. 8月お誕生月会員お祝い

- 伊藤 清一 会員 (8月 9日)
- 林 拓 会員 (8月16日)
- 洪 理恵 会員 (8月24日)



3. 会長の時間 「蝉しぐれ」 岡本 茂 会長

先週、近畿地方もやっと梅雨が明けました。これからしばらくはコロナと同様、暑さ対策にも注意が必要です。大相撲7月場所は、照ノ富士の優勝で幕を閉じました。両膝を痛め大関から序二段まで陥落。そこから這い上がったの奇跡の復活優勝に、勇気と辛抱を教えてくださいました。

さて、戦後を代表する首相を3人挙げるとしたら、吉田茂、佐藤栄作、中曽根康弘…が妥当なところでしょうか。昨年11月に亡くなった中曽根さんは101歳の長寿でした。

若いころは「青年将校」、「変わり身の早さから政界の風見鶏」、晩年は「大勲位」と呼ばれました。

2003年、比例代表の73歳定年を迫る小泉首相(当時)。連続20回当選、85歳だった中曽根さんに対する事実上の引退勧告です。「一種の政治的テロだ。こんな非礼なことはない。」と怒りを隠さない中曽根さん。しかし、安倍幹事長(当時)から「高い見地から党をご指導いただきたい。」との再度のお願いに、「きみも貧乏くじを引いたな。わかりました。」と答え、その後の会見を自作の句で締めくくりました。

「暮れてなお 命の限り 蝉しぐれ」

長男の中曽根弘文参議院議員は、「まさに自作の句そのものの人生でした。」と語っています。

「政治家とは歴史という名の法廷で裁かれる被告である」(『自省録』2004年)

覚悟のある、迫力ある、またリーダーシップを発揮した政治家でした。今、政治家らしい政治家がいなくなったような気がします。寂しい限りです。

4. 委員会報告

◎米山奨学委員会 岡野 秀章 カウンセラー

タン君は、1日だけ微熱がありました。その後は平熱に戻りました。念のため8月の例会出席は辞退して、9月に出席予定です。お騒がせとご心配をおかけして、申し訳ございませんでした。

◎親睦委員会 岡野 秀章 委員

9月28日(月)の例会を一斉体験例会日として、計画を進めております。ついてはお知り合いの方へ入会候補者として多数のお声掛けをお願い致します。なお、同日は例会終了後にホテル内の別室へご入会候補者の皆様をご案内し、当クラブの活動内容などの説明会(約30分)を予定しておりますので、こちらへのご出席も予めご案内いただけますようお願い致します。候補者がおられれば事前に事務局までご連絡をお願いいたします。

尚、新型コロナウイルス感染拡大状況により、万一延期が必要となった場合は遅くとも9月23日(水)までに開催延期のご案内を致します。

5. ニコニコ報告 小島 常男 親睦委員

澤田 会員…本日の卓話よろしくお願ひ致します。

小山 会員…釧路から昨日無事帰阪。9日間連続ゴルフをしてきました。

伊藤 会員…俣野会員、茨木カントリーの会報を楽しく読ませていただきました。

吉本、中村、小島、新川、藤井、清水、沖、片岡、平山、塩尻、栗原、宮原、俣野、山川、原山、北野、中西、洪、岡野、大嶋、井澤、松谷、林、岩崎、中嶋、松永、

各会員…ようやく梅雨が明けました！

伊藤、林、洪、各会員…8月お誕生月会員

中村、岡野、澤田、各会員…8月創立記念日

6. 出席報告 俣野 富美雄 副SAA

会員総数 35名 出席率計算会員数 34名 出席会員数 32名 出席率 94%

第1401回(7月13日) 修正出席率 97%

7. 卓 話 「バヌアツとフィリピンの歯科医療奉仕」 澤田 宗久 会員



いつもバヌアツ共和国とフィリピン共和国・カオハガン島での歯科医療奉仕活動に御理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。

本来ならここでバヌアツ・ペンテコスト島での活動報告をするはずでしたが、コロナ禍の為に今年は海外での活動が出来なくなったので今までの活動と今後の計画についてお話しを致します。

去年行われました地区大会の時に八尾RCの笠井会長からお話しがありました。八尾市立消防署から払い下げられる救急車が手に入るのでバヌアツの病院で利用しないか？との事でした。早速塩尻会長に相談したところ、大変良い話なので前向きに進めたらどうかと言って頂きましたので、現地のバヌアツ政府に問い合わせたところ、欲しいとの回答を受け、今年になって現地と何回かの連絡を取り合って参りました。

今年の3月末に廃車にして4月以降にバヌアツに向けて手続きを行い船便で送る予定でした。ところが八尾でもし、コロナウイルスがクラスターを引き起こした場合に廃車予定の救急車を使用するかもしれないとのことで、このお話しは保留となっています。

誰もが思うことですが、コロナウイルスが終息し、日常を取り戻し救急車のバヌアツへの寄贈を実現させたいものです。

以前から八代南 RC のパスト会長、下田和利様から八代の秀岳館高等学校の生徒が作った花苗(マリーゴールド・千日紅・百日草)と野菜苗(ピーマン・ミニトマト・きゅうり)を大阪の小学校に送って、大阪船場 RC とコラボレーションし、新たな交流事業をしてはどうか？というご提案がありました。

こちらといたしましては、長年八尾市立竹淵小学校で出前授業を行なっていますので、校長先生にこの企画を話しましたところ、面白い小学生にも育てられるので是非やりたい、と言って頂きました。

コロナ禍が落ち着けば実行していきたいと思っていますので、会員の皆様方のご理解とご協力宜しくお願い致します。

「バヌアツ・フィリピンでの現状」 新型コロナ非常事態宣言下

バヌアツ共和国

バヌアツ政府は、世界的感染拡大が進む新型コロナウイルスに対して、3月26日に「非常事態宣言」を発令、①5人以上の集会を禁止、②商店等の午後7時半以降の営業禁止、③午後9時以降のタクシー、ガソリンスタンドの営業禁止などの措置が盛り込まれました。ハグはもちろんのこと握手もダメ、足の親指と相手の足の親指をかくく触れてお別れの挨拶です。

エアバヌアツ航空は、2020年3月23日に全ての国際サービスを一時的に停止し、30日には国内線の運航も停止。国際貨物(燃料、救援用物資を除く)、郵便もストップしています。1月に航空便で送ったバヌアツの子ども達への2020年度カレンダーも、どこかに止まったままです。海外からの救援隊も新型コロナ発生地域から入国できず支援物資は積み込み前と到着時に消毒作業が行われます。

バヌアツは、2015年3月にカテゴリー5のサイクロン「パム」が襲来、首都ポートビラのあるエファテ、エロマンガ島などが大きな被害をこうむりました。この時は16万余名が被災し、死者は11名同じくカテゴリー5の「ハリッド」では、1万8千人が被災しましたが、死者は2名でした。バヌアツに死者が少ないのは、SNSによる早い情報のキャッチと経験知による避難体制が確立されているからです。洞窟などの自然の避難場所で、雨風の収まるのを待ちます。通過後の復興は村人総出でおこないます。民家の屋根はナタンゴラの葉っぱを編んで葺きますが、今回はナタンゴラの葉が飛ばされてなくなりヤシの葉で代用、その編み方はタンナ島の女性が教えました。

学校はすべての子供たちが学び、楽しい時間を過ごすために大変大事なところ。村では、仮設のテントなどを使って5月25日から授業を再開しました。

バヌアツ政府は、海外で立ち往生しているバヌアツ人の一刻も早い帰国のために、ビラ中央病院に隔離病棟と検査機器の新設を行い、随時帰国者を受け入れています。帰国者は14日間の隔離の後、自宅に帰ることができます。

フィリピン共和国

カオハガン島の近況を少し報告させていただきます。カオハガン島は3月16日から封鎖しております。基本的には他の島の人の受け付けずに、コロナウィルスが島に入っていないように努めております。これまで、島内での感染者はゼロです。3月末にはカオハガン島が属しているラプラブ市がロックダウンし、すべての交通機関、お店などが閉店しました。現在は、厳しかった規制が少し緩和されて、ラプラブ市への食糧調達も可能です。ですが、セブ市、ラプラブ市ともに感染者数が増え続けており、医療崩壊しており、多くのカオハガン島民は島内から出ずに、ウィルスを島内へ運ばないように注意しております。

島民たちの生活はというと、収入を失ってからみんな海の恵みを捕りにいくようになりました。海から離れ始めていた若者たちも魚を捕りに出かけるようになり、みんな真っ黒に日焼けして、男性たちは身体が縮まってきました。若者たちが家族のために食料を調達する姿は美しく、多く魚が捕れたときは、近所の人々と分け合っている姿もまた素晴らしいです。女性たちも浅瀬で貝を拾ったりすることが多くなり、日焼けした肌がまぶしいです。貝やウニを採ってきて、隣の島へ売っているようで、少額ですが収入になっているようです。ですが、大家族を支えるだけの収入にはならず、ときにはご飯も炊けずに夜涙することもあったと聞きました。海の恵みを採りにいけるとはいえ、少しのお金は必要です。魚を捕ってきても、調理するための薪、塩や香味野菜を購入する必要があり、生活用水、飲料水、石けんなども必要で、お金を使わずに生活するとはなかなか難しいことだと実感しました。

これまで、政府から米や、現金の支給もあったので、収入がなくてもなんとか家計をやりくりすることができていました。ところが、政府がもう支援する資金がないと宣言し、支援が打ち切られました。セブ市は、それでも感染者を抑えることができない状況にあり、コロナによる生活困窮者が急増しています。あまりの感染者数の急増にセブ市は、規制が緩んだにもかかわらず、また規制を強めています。政府も着地点を探しているように思えます。たくさんの方の日系、韓国系の語学学校、ダイビングショップなども閉店してしまいました。以前のような経済の活気が戻ってくるのは、ずいぶん先のこととなるだろうと予想されています。

カオハガン島の管轄であるラプラブ市は規制下では、観光業を許可されておらず、例え許可されたとしても、島民たちと話し合っ、ウィルスが島に入ってきてしまリスクを受け入れるかどうか決めなければなりません。一方で、島民たちのお金が底をつき始めているようで、4月に行いましたクラウドファンディングからのご支援、前払い資金をもとに、継続的に支援を開始しているところです。しかしながら、700人を支え続けることはなかなか難しいのが現状です。

完璧にひとつの家族のように美しく助け合うことは難しいですが、少なくともお金を持っている家族が自分たちだけよければいいというような気持ちにはなれないようです。誰かがそばでお腹を空かしているのに、自分たちだけ満腹にはなれないし、ならないのです。人間がもともと持っている、幸せの感覚なのだと思います。みんな一緒に幸せでないといけない、コミュニティの素晴らしさを感じます。

現在、わたしたちが必要としていることは、必要最低限の食糧と医療と教育へのサポートです。それをほんとうに必要としている家庭へ優先的に行っていきたくて考えています。

8月24日から開始する小学校、ハイスクールの再開に向けての準備が必要です。多くの家庭は食料すら入手することが難しい環境になるため、授業に必要な文具を揃えることができません。3月から8月まで5か月間の長い休み期間を経て、ようやく再開される学校。学びたくてウズウズしている子どもたちに最低限必要な文具を揃え、勉強に専念できる環境を整えることができたいと思います。

島民たちの生活をサポートするために、観光収入に頼らずに、新しい収入の道、カオハガン島の手しごとを増やしていくことを探っています。

そのひとつとして、すでに日本やアメリカでも少しずつ知られ始めているカオハガン・キルト。今の時期にキルトをつくって収入を得るといえることができるということは、とてもありがたいことです。とはいっても、日本でキルトを販売する予定でしたキルト展が中止になり、販売場所がなく困っていました。キルトの販売をする準備は整っているのに、キルトをつくるための資金がない状態でした。キルト製作費を切り詰めないといけない状況の中、できあがったキルトは、現在、インターネット上でお買い求めいただけるようになっています。

南国育ちの底抜けに明るい色彩感覚、平凡であたたかい日常を描いたカオハガン・キルトは、少し暗くなってしまった世界に明るい光を灯します。キルト以外のお土産もお気軽にお求めできるようにしました。いつもカオハガン島のことを応援してくださりまして、ありがとうございます！心から感謝申し上げます。

「歯科医療奉仕活動のあゆみ」

私達はバヌアツ共和国が1980年に独立して間もない1983年より歯科医療奉仕活動と文化交流を行なっていて、今年で37年目になります。当初は抜歯と入れ歯の作成しか手が回りませんでした。年々参加するスタッフと歯科器材が充実し、歯を抜かない保存治療や学校健診が可能になってきました。

1996年よりフィリピン共和国のカオハガン島においても年2回延べ48回同様の活動を行なっています。甘味食品の摂取の増加により、両国の子ども達の虫歯が増加してきているのが最近の学校健診からも伺えます。今後、より一層の歯科衛生向上の啓蒙活動が必要とされています。その為に正しい歯磨きを生活習慣とする指導と、予防充填を行い永久歯の保存に努めています。その結果、口腔内の環境が改善されて虫歯が減少してきたことは喜ばしいことです。

最近のカオハガン島での活動は、口伝えて周りの他の島々に伝わり船に乗って他の島々からも沢山の患者様が来るようになり、カオハガンでの私達の活動が定着してきたことを実感しています。文化交流では日本の小・中学校の絵画や工作・手紙等を持って行き、現地の子とも達と交換して両国の文化の懸け橋となっています。

私達の活動の特色として、医療活動・文化交流以外にもう一つ大切にしていることは、活動を通じて参加者・スタッフの育成を願っています。私達はバヌアツ共和国・フィリピン共和国の活動を通じて、発展途上国の人々の暮らしや人間性にふれることで、心の豊かさを感じシンプルの中にも自然な生活の持つ価値観を教えられました。特に若い人の中には活動に参加して、生き方が変わる程の影響を受けた人も少なくありません。大阪船場RCとニューヨーク州クーパーズタウンから来た交換留学生のジャシュア・シェクタ君もその一人でした。

私達が活動の中で学んだ事は「固定観念を持たないで個々がしっかりと目的を持ってボランティアを行う」と言うことです。

一般的に『物を寄付する事=援助』だと思いがちですが、彼らにとって本当に必要なことは自分達の方で自分達の地域を良くしていくこと、つまり自立です。

他の活動の一つには、彼らが医療に対して自立できるように様々な方面でサポートしています。例えば、高校や専門分野・医学部や歯学部の学費の奨学金を奨励しています。一人では何も出来ないけれど、グループ(ロータリー)だからできることが沢山あります。

仲間と多くを語り合っこそ、多くの事を学ぶことができます。参加者一人一人が活動を通じて色々と体験することにより、社会というものを本当に理解できるのです。そうした人の輪を着実に広げていきたいと願っています。まさしくロータリーの輪であり、ロータリー精神であります。

2006年から継続して、私は八尾市立西山本小学校、南山本小学校・竹淵小学校に於いて、学期ごとに(年約3回)ボランティアの経験話を中心に道徳的なことについて出前授業を行なっています。その時にスライドショーで現地の子どもの写真を見ながら物の大切さを学びます。例えばエンピツは大変貴重なもので以前は1本のエンピツを半分に折り、2人で分け合っで使用していたことなどです。ウリビ島の10校の小学校にドネーションを行いました。

これらの文房具は、トラックに揺られながらユニセフなどの寄付の届かない山奥の小学校に自分達の手で一人一人手渡しました。

帰際は沢山の子ども達が手を振ってトラックを追いかけて走って来てくれます。その瞳はとても綺麗に輝き、子ども達の笑顔は、それまでの道のりの険しさを忘れさせてくれました。

2014年4月にIM7組パストガバナー補佐、杉浦敬久会員が中心となってIM7組の事業として援護物資のドネーションと復興の先駆けとなるように、輪タクやチェーンソウなどの生活自立のできるような物を現地コーディネーターと考えて寄贈しました。

そして2014年9月にJDMとレイテ島の歯科医師会とレイテ島カンダヤ・タクロバンRCとのコラボレーションで歯科医療奉仕活動を行い、日本から14名・現地医師10名のチームを作り現地ボランティア、村長も参加して頂き3日間で約900人以上の患者様を治療することができました。

2015年3月バヌアツ共和国にサイクロン(現地名バム)が襲い風速100mの暴風雨により家屋が吹き飛ばされました。2660地区のガバナー泉 博朗様に話をしたところ、早々に2660地区83クラブとして、義援金325万円を集めて頂き、バヌアツのポートビラRCに寄付を致しました。

私達のミッションは地道な活動であります。奉仕とは楽しみながら自ら進んで行くことでもあります。「継続は力なり」と申しますように、一步一步築き上げて行くことが大切であります。これからもロータリーの精神であります『四つのテスト』を遵守して心新たな気持ちでバヌアツとフィリピンの島民の健康と口腔衛生向上を目指して取り組んで行きますので、今後共皆様方のより一層のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

8月度理事会報告

2020年8月3日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40～

(議案)

- ① 7月度会計報告及び、前年度監査報告⇒承認
- ② RI 人頭分担金について⇒承認
- ③ 米山奨学普通寄付について⇒承認
- ④ 改正定款細則に関する臨時総会開催について⇒承認
- ⑤ 今年度 当クラブ「ロータリー賞」目標について⇒7月は特に進捗なし
大阪船場 RC 運営ガイドライン(案)について 一部修正の上、会員に発信
- ⑥ 夏の家族懇親会開催(8/29)について⇒中止
- ⑦ 八代南 RC への災害見舞金について⇒先方に相談の上、今後検討
- ⑧ クラブ協議会(柿本ガバナー補佐来訪)8/31 について
⇒対象者は参加 参加できない場合は代理者参加
- ⑧ 今後のオンライン例会開催に向けて、クラブとしての Zoom アカウント取得

☆次回8月31日(月)例会予定

- ・会員増強バズセッション
- ・クラブ協議会 4階「白鳥の間」 13:40～15:40
- ・事前懇談会 4階「藤の間」 11:20～12:20

※例会場は4階「孔雀の間」に変更になっております。